



配布版

Patent & Marketing®

# 実務 知財~~活動~~に役立つマーケット情報の調べ方、 知財情報のマーケティングでの使い方

---

最近の研究結果を含めて報告します。

2022年6月9日

佐藤総合特許事務所 所長弁理士 佐藤 寿

satoh@sato-sogoip.com

# 自己紹介

- 長野県出身 長野高専卒業 富山大学大学院(機械システム工学)修了
- 特許事務所と事業会社での経験を活かして、特許や商標等の権利化、特許やマーケティング等の調査分析、経営戦略の策定支援、教育等を実施
- Patent & MarketingのHPも運営し、特許分析等に関する情報を発信中
- SNSはTwitterがメイン、Facebookも使用開始



弊所マップ



弊所が入居しているビル



弊所利用の主要調査分析ツール

JP-NET

Search

PatentSQUARE

日経テレコン

パテントマップ EXZ

日経 XTECH

PatBase

Ref. Coder

LENS.ORG

VOSviewer  
Visualizing scientific landscapes

# 目次

---

1. 概論
2. 情報ツールの紹介
3. 簡易分析事例
4. まとめ

# 1. 概論

---

事業における知財（特に特許）情報やマーケティング情報の利用について考える

## 知財(特許)とマーケティングについて

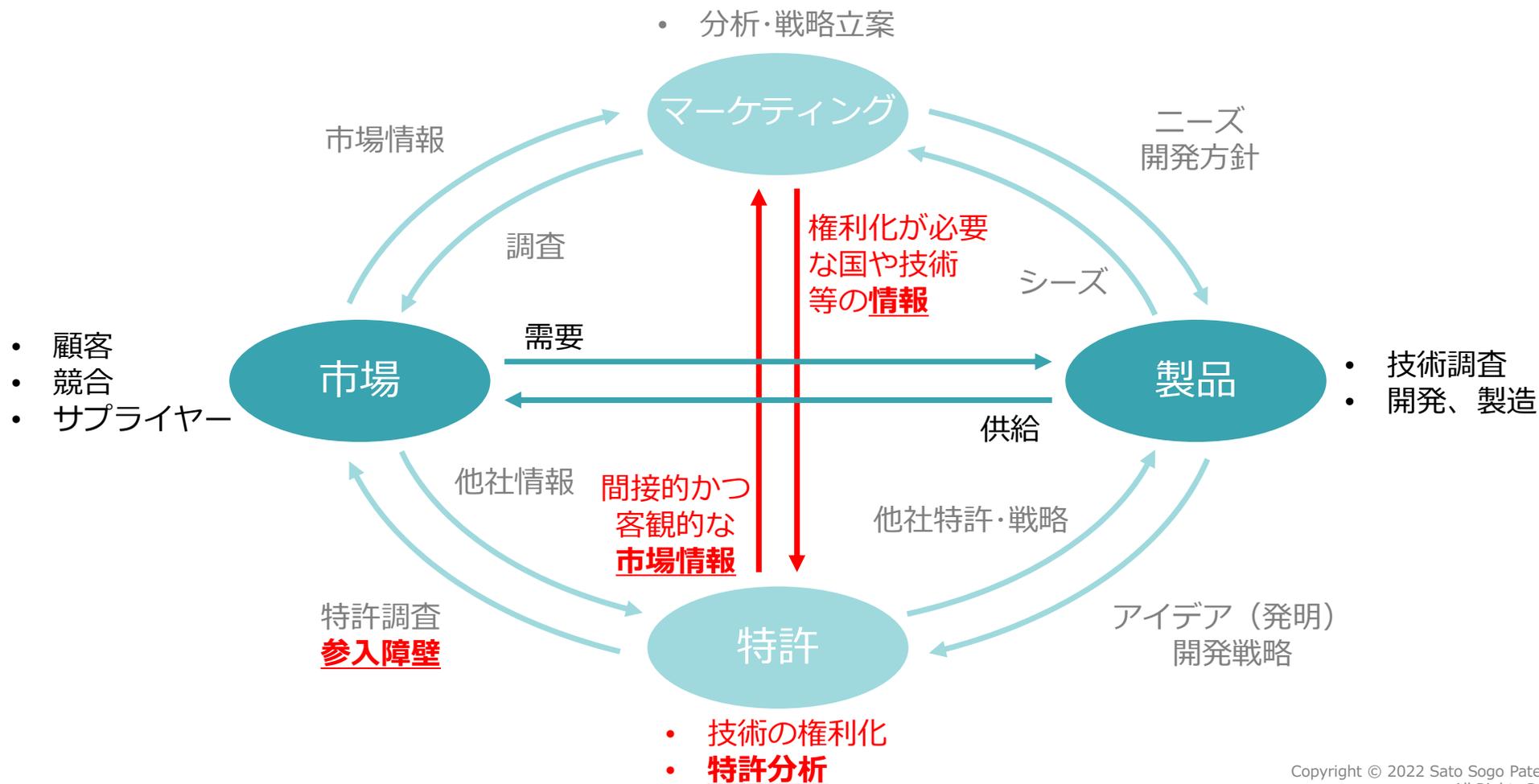
今回のポイントとなる2つのキーワード「知財(ここでは特許のみ)」と「マーケティング」について簡単にまとめる

特許		マーケティング
法制度	何か?	経営手法
発明の保護及び利用を図って、 発明を奨励し産業の発達に寄与すること	目的・定義	人間や社会のニーズを見極めて応えること ニーズに応じて利益をあげること*
公開代償として約20年間にわたる独占権 を与えることで技術開発と公開を促進	手段・手法	情報ソースを問わない市場調査に基づいて 開発や拡販手法を取捨選択する
自然法則を利用した技術的思想のうち 高度のもの(発明)	対象	顧客の集合としての市場
知財部門、技術部門	主なユーザ	営業部門、企画部門
開発技術の長期的(永続的)な独占実施	ユーザの目的	市場における売上・利益の向上(独占)
リーダ企業等の開発方針として表れる 技術トレンドの把握(未来予測)	相補関係	市場のある開発・権利化すべき分野の選定

\*コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント(第12版)より

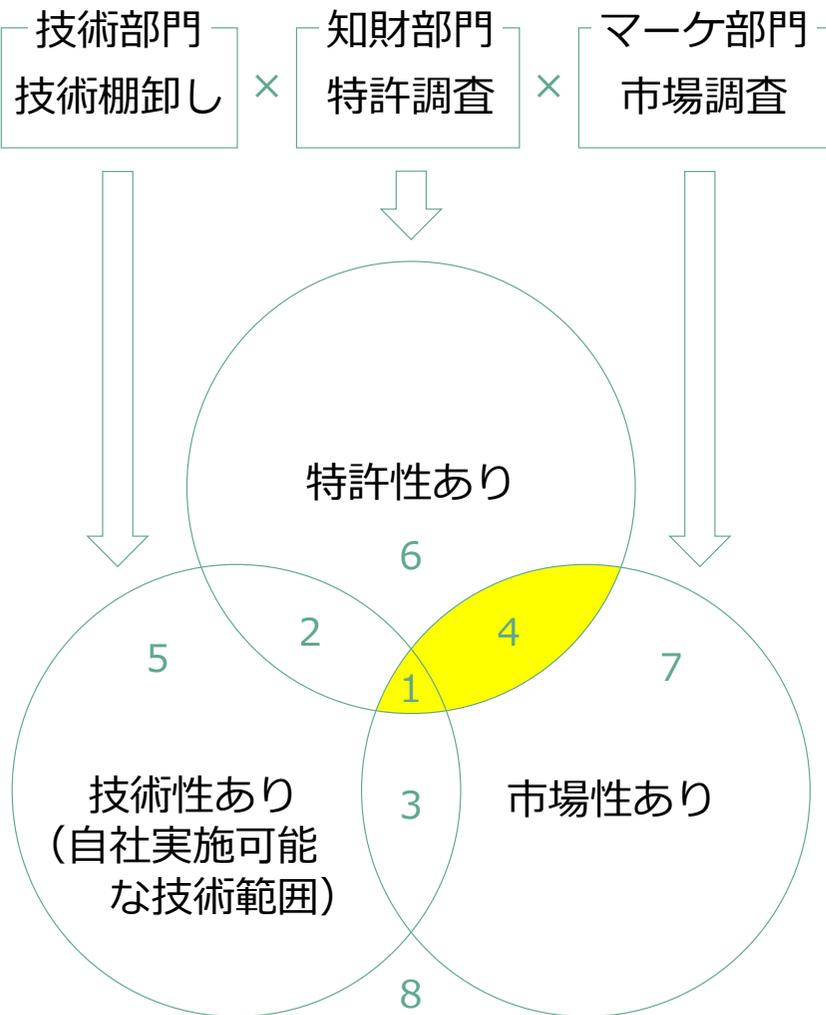
## 市場と製品との関係まで拡張して考える

特許やマーケティングにより事業として利益をあげるためには、これらが市場と製品としっかり繋がっている必要がある



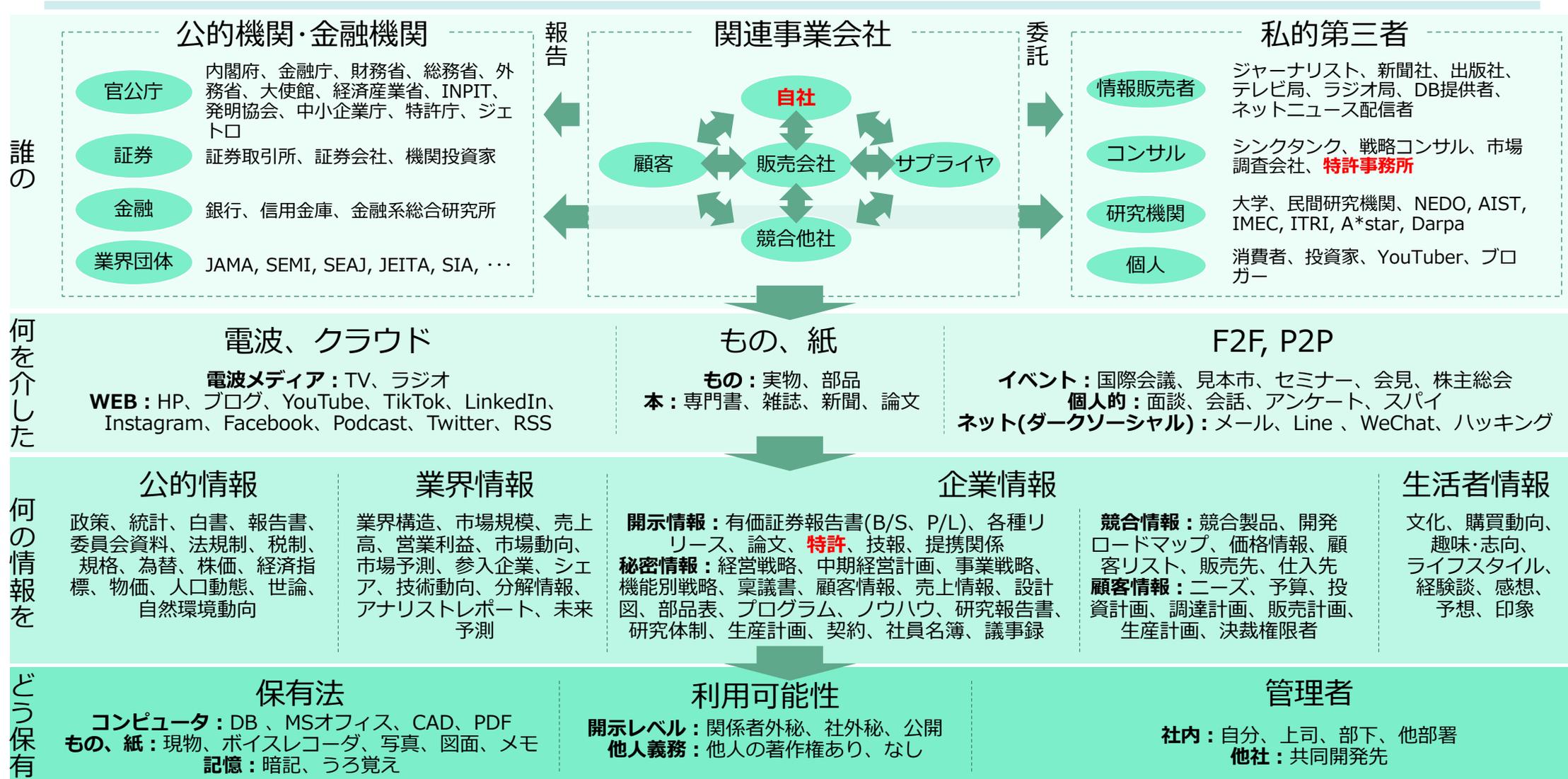
# 技術 × 知財 × マーケティング

技術との関係も重要だが、今回のテーマは知財とマーケティングの相互理解のための手法を説明する



	技術性	特許性	市場性	出願
1	○	○	○	すぐに特許出願してビジネスの独占を狙っていくべき
2	○	○	×	将来市場が創出される可能性があるのなら特許出願してもよいが、開発しても製品が売れないリスクはある
3	○	×	○	何とか特許化できないか再考したりブラックボックス化や他の参入障壁によって独占出来ないか検討すべき
4	×	○	○	他社での実施のために権利化してもよいが、自社での実施可能性が低くコスト回収が困難となるおそれあり
5	○	×	×	市場性のある領域に適用可能な技術にすべく研究をしてもよいが、優先順位は低い
6	×	○	×	特許は取れるかもしれないがビジネス可能性が低く、アイデアの単なる垂れ流しになるおそれあり
7	×	×	○	将来的な自社での実施可能性などを考慮して調査を継続すべき
8	×	×	×	関係ない領域

# 事業を取り巻く情報とその流れ

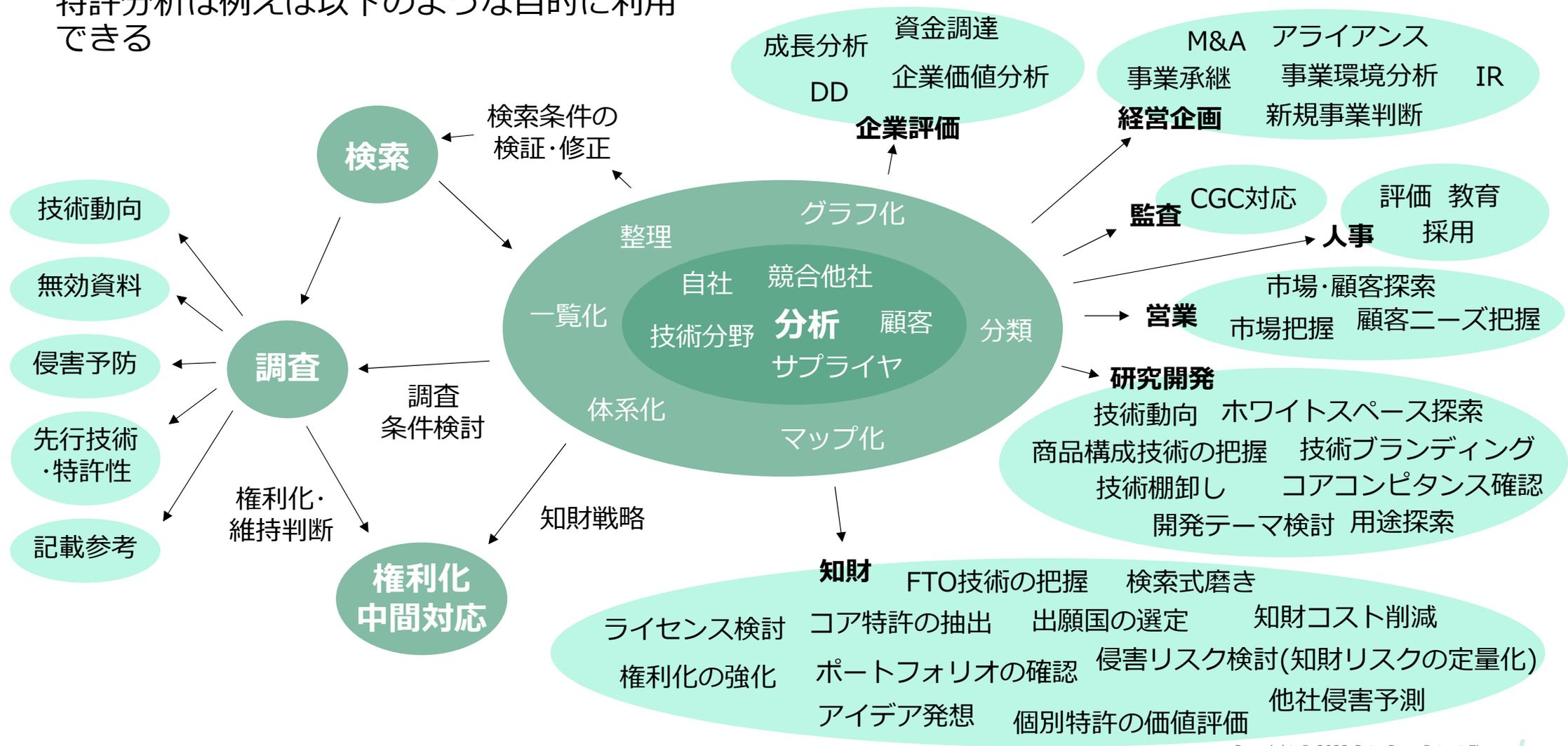


事業に関わる情報は無数にあり事業の理解を深めるには特許情報だけでは足りない

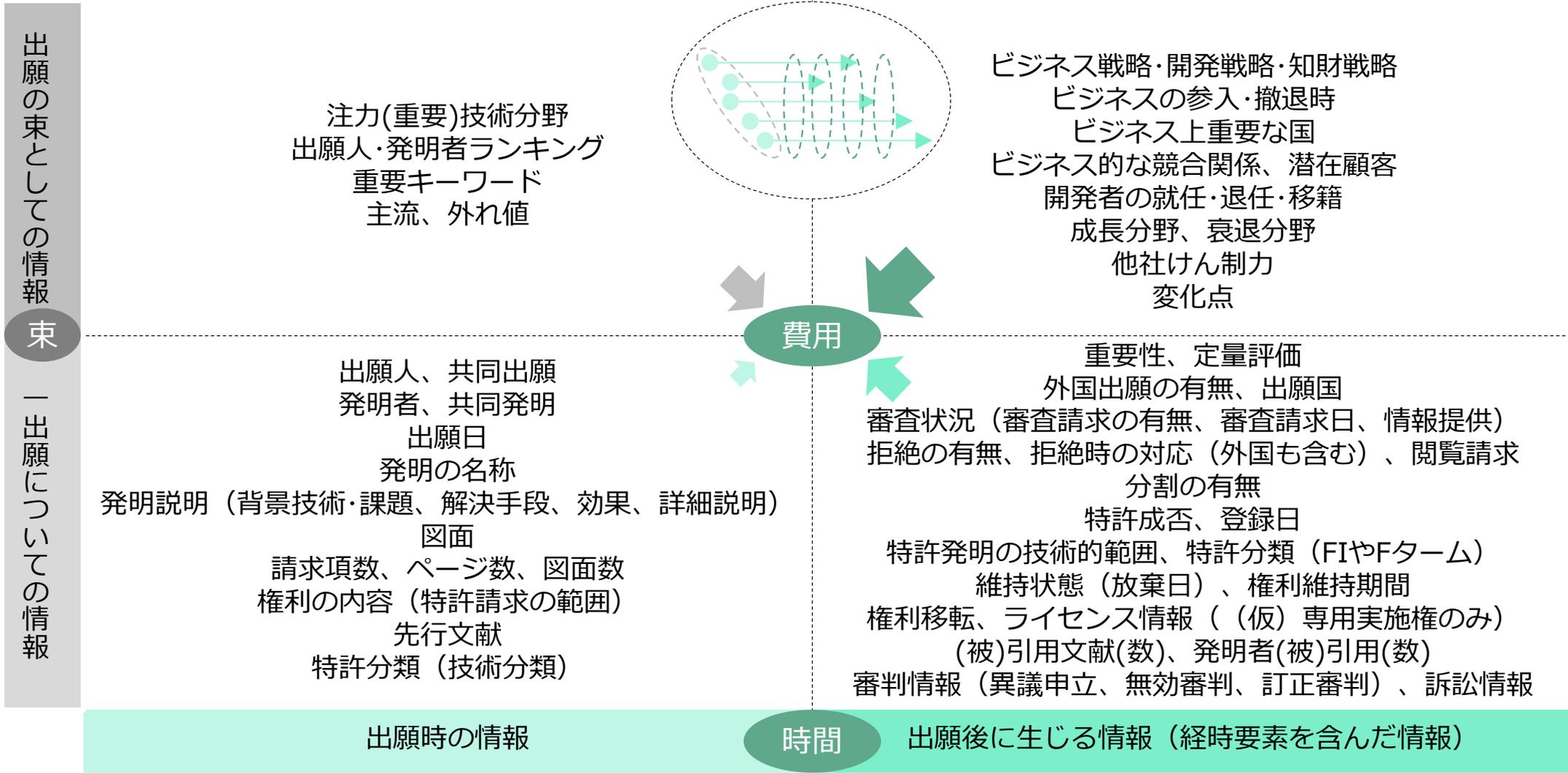
# 特許分析でできること

特許分析は例えば以下のような目的に利用できる

このあたりがいわゆるIPランドスケープ



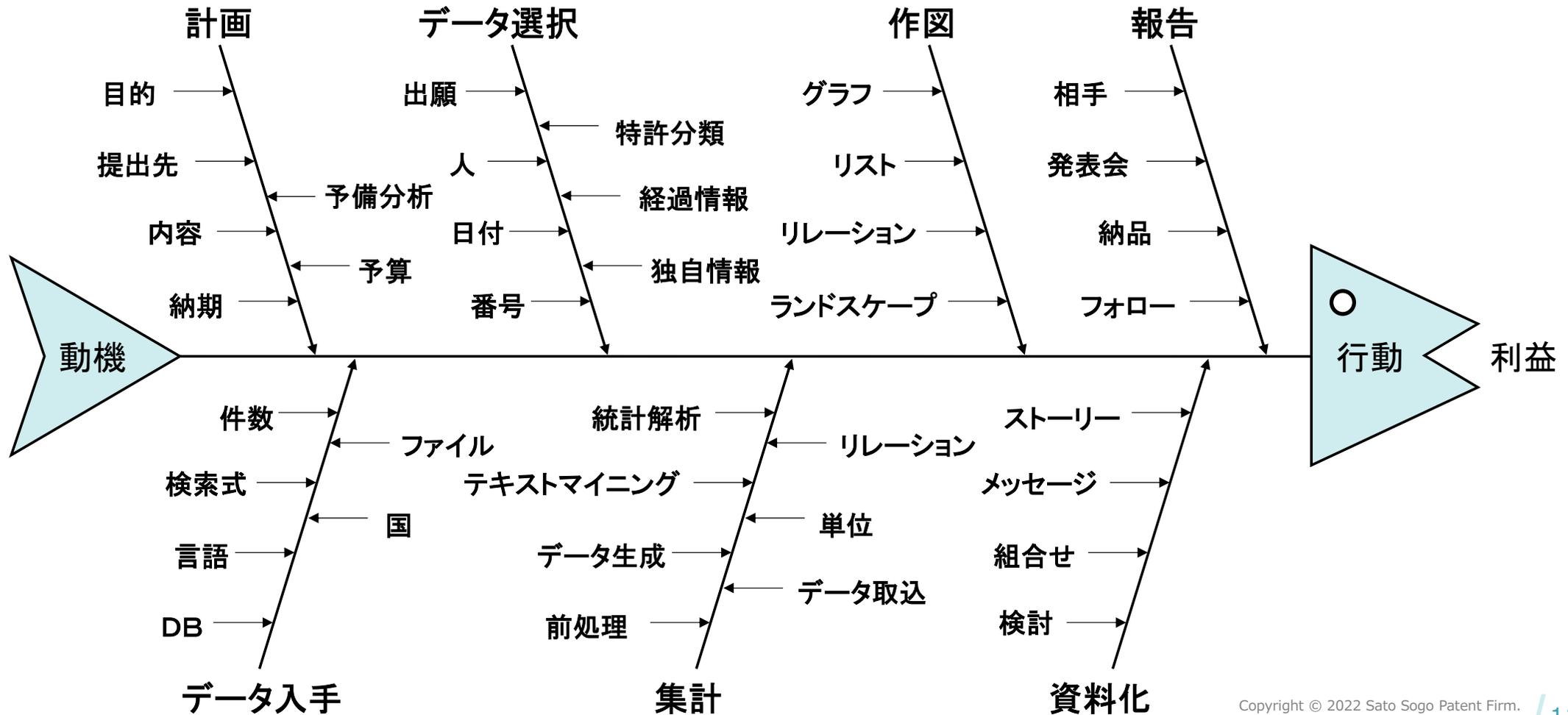
# 特許情報の分析からわかること



出願後の情報や束としての情報として考えること、手続費用を考えることも重要

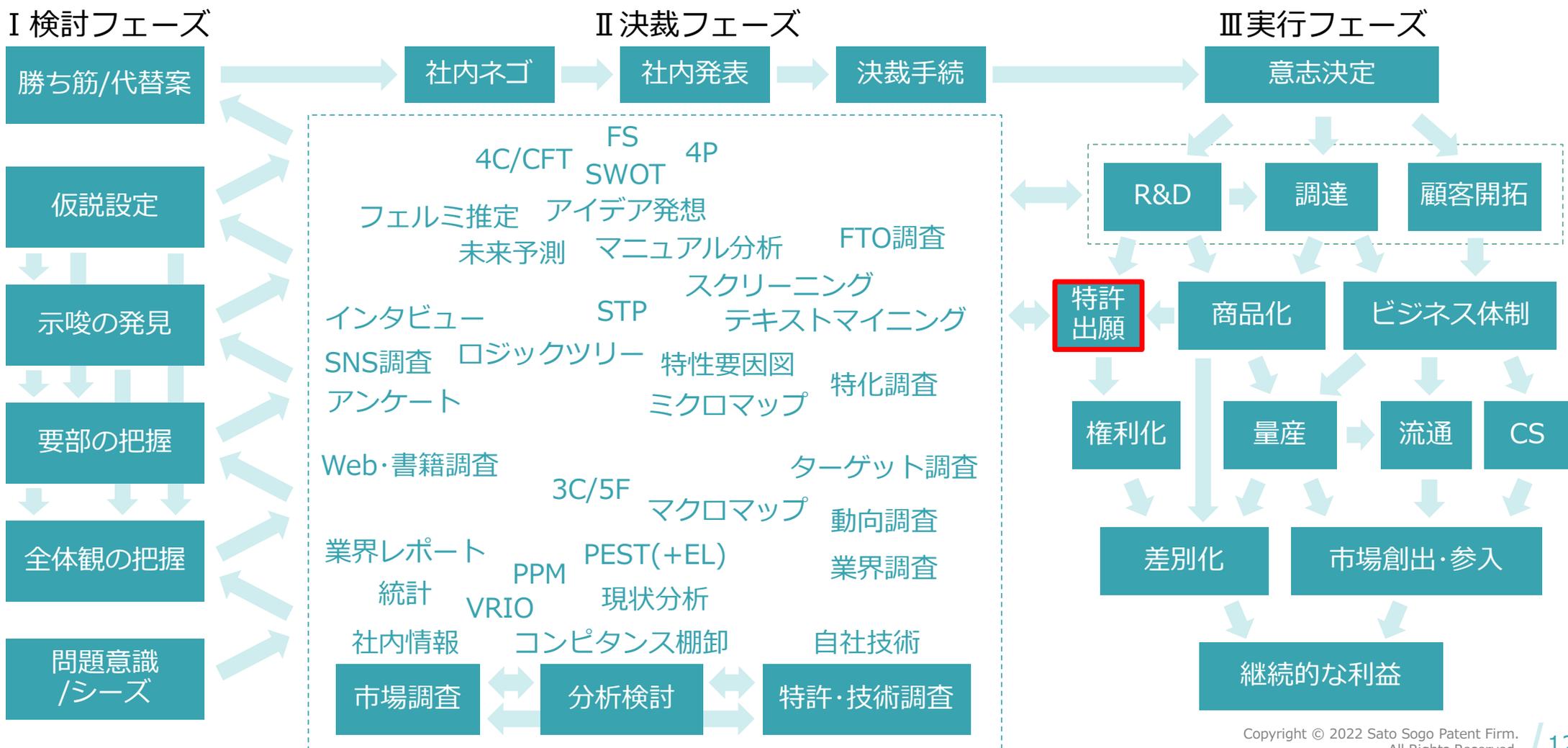
# よい分析を行うために意識すべきポイント

目的に合わせた分析をするためには、分析に関わる全工程について俯瞰的な視点を持ち、分析の行程を適切に設計して作業を進める必要がある。このような流れは特許分析以外でも同様



# 利益化を見据えた事業開発における調査・分析検討の役割

事業開発における各工程は事業の利益化までの全工程として最適化する必要があり分析も同様である



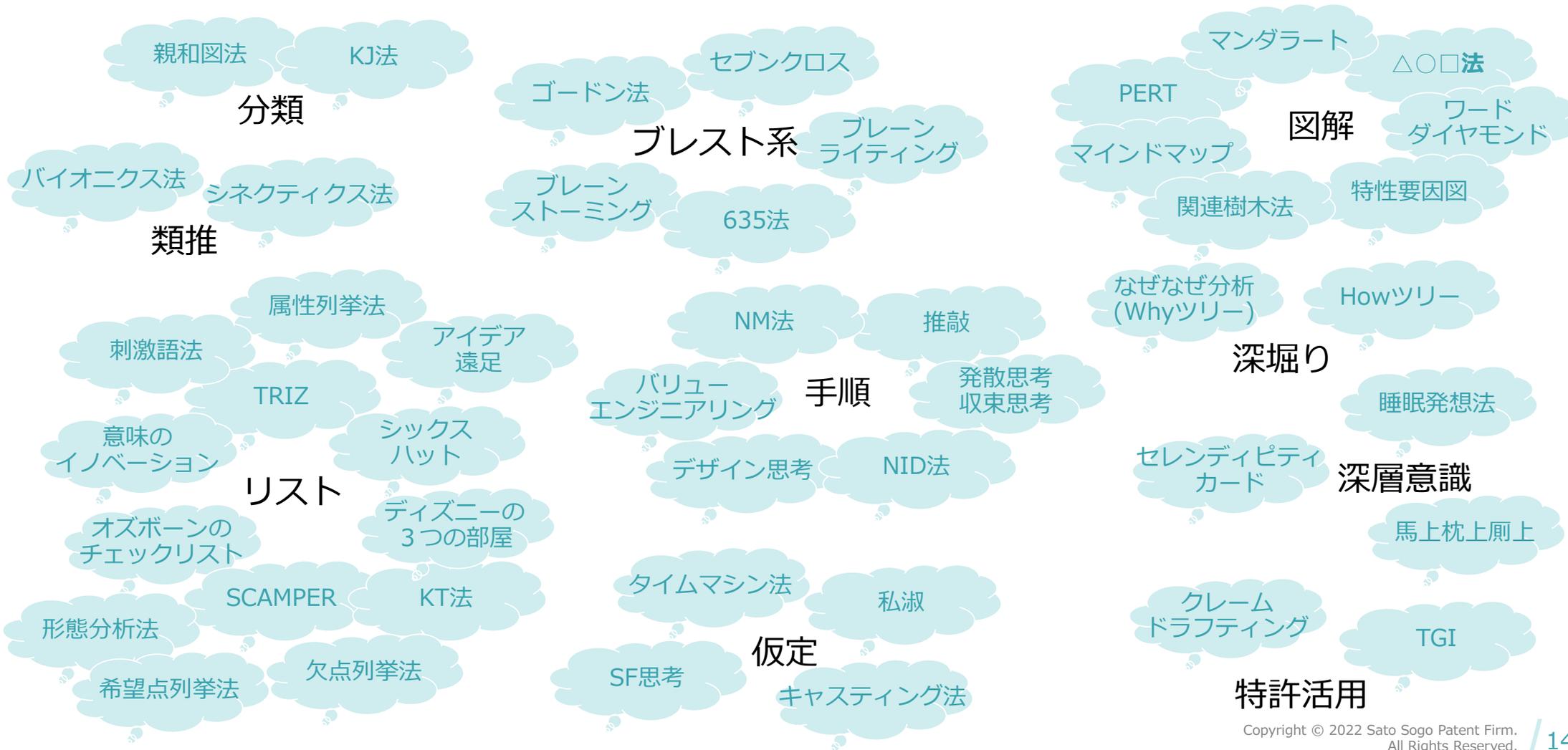
# 役に立つフレームワークや考え方

事業開発等の目的で情報を整理し分析するときには各種のフレームワークや考え方も役に立つ

3C	5F	FS	AIDMA	6W2H	ジョハリの窓	パーチェス ファネル
4P/4C	PEST(+EL)	3M	PDCA	アドバンテージ マトリックス	ロジカル シンキング	チャンス マップ
STP	ブレイン ストーミング	7S	OODA	MECE	ラテラル シンキング	TMM
シックス ハット	ロジック ツリー	VRIO	RFM	イシュー ドリブン	ランチェスター 戦略	顧客戦略 マトリックス
バリュー チェーン	PPM	バランス スコアカード	製品ライフ サイクル理論	三方よし	KPI	競争 地位戦略
アンゾフの マトリックス	カオスマップ	イノベーター 理論	フェルミ推定	ポジショニング マップ	KSF	プロダクトアウト マーケットイン
ガント チャート	(クロス) SWOT	パレートの 法則	帰納法/演繹法	PMI法	ブルー オーシャン	鳥の目、虫の目 魚の目
QCD	PREP	システム思考	コア コンピタンス	CFT (3次元定理)	カスタマー ジャーニー	資源ベース論
SCP	ファジー フロントエンド	ビジネスモデル キャンバス	クリティカル マス	スイッチング コスト	フリーミアム	事業経済性
フォーキャスト バックキャスト	未来年表	経営デザイン シート				

# アイデア発想法

調査分析結果からアイデアを生み出す必要があるが、アイデア発想法には様々な手法があり利用できる



## ～コーヒーブレイク～

---

質問等がございましたらYouTubeのコメント欄にご記入ください。

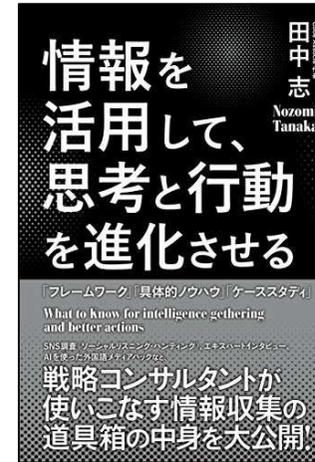


# ～コーヒーブレイク～

## 調査・分析に役立つ本やスライド

### 本

- I. 武器になる情報分析力
- II. 情報を活用して、思考と行動を進化させる
- III. フェルミ推定の技術



### スライド

- I. 調査の使い分けについて
- II. 解像度について

ビザスク

Cobe Associe

**どんなふうに調査を“使う”のか、その使い分け。**

?? そもそもの仮説がない

?? 仮説はあるが、検証に使えるプロダクトがない

?? そもそも必要な仮説検証の粒度がわからない...

➤ ① “浴びる”ための調査

➤ ② “磨く”ための調査

➤ ③ “口説く”ための調査

に分かれるよ、というところまで前段です

Cobe Associe

<https://speakerdeck.com/nozomi/research-tips-for-new-biz-creation>

## 解像度を高める

Takaaki Umada / 馬田隆明  
東京大学 FoundX (インセプションプログラム)  
<https://foundx.jp/>

解像度の要素：深さ、広さ、構造

これら三つの軸を基に「解像度を高めていく」ための Tips をこのスライドでは解説する。

深さ	広さ	構造の把握
原因や要因を深くまで掘り下げて把握しているか。	どれだけ広く原因や要因を把握しているか、異なるアプローチや視点が検討されているか。	原因や要因の構造、関係性、それぞれの相対的な重要性などを適切に把握している。また、分け方が洞察につながっている。

深さ

広さ

構造の把握

<https://speakerdeck.com/tumada/jie-xiang-du-wogao-meru>

Copyright © 2022 Sato Sogo Patent Firm.  
All Rights Reserved.

## 2. 情報ツール

---

手間をかければ無料ツールでも多くの情報を手に入れることができる

# 特許とマーケティングの調査に利用できる調査ツール・サービス

## 特許検索ツール(公)



## 分析ツール



## 特許検索ツール(私)



## 知財コンサル



## 論文・文献検索



## ニュース検索



## 統計



## 株価



## インタビュー



## 市場調査



## 株価



## 未来予測



## 企業調査



## 環境



情報ツールを知るのも重要。赤丸は弊所で利用可能ツール。★について今回言及する



## 知財活動に役立つマーケット情報(企業情報)

マーケティングリサーチなどに用いられる以下のような企業情報ツールは知財実務でも役立つ。ただし、調査はまず対象の企業のHP(特にIR情報(有報、四半期報告書、中計など含む))を読み込んでから行うこと

企業調査	Wikipedia	<a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/">https://ja.wikipedia.org/wiki/</a>	企業の概要調査はまずここから。言葉を調べるにも
	法人番号公表サイト   国税庁	<a href="https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/">https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/</a>	Wikipediaにないときは、ここで法人番号と正式名称を調べる。出願人名称は正式名称になる
	厚生年金保険・健康保険 適用事業所検索システム   日本年金機構	<a href="https://www2.nenkin.go.jp/do/search_section/">https://www2.nenkin.go.jp/do/search_section/</a>	健康保険の被保険者数から最新の社員数の概略を確認できる。企業規模に合わせてサポートのレベルを検討
	法人検索   中小機構	<a href="https://tdb.smri.go.jp/corpinfo/corporate/search#o">https://tdb.smri.go.jp/corpinfo/corporate/search#o</a>	資本金や業種を確認できる
	STARTUP DB	<a href="https://startup-db.com/">https://startup-db.com/</a>	国内スタートアップ企業の情報を調べられる
上場企業調査	Crunchbase	<a href="https://www.crunchbase.com/">https://www.crunchbase.com/</a>	グローバルのスタートアップの情報を調べられる。特許や商標の件数も簡単に調べられる
	バフェット・コード	<a href="https://www.buffett-code.com/">https://www.buffett-code.com/</a>	上場企業のIR情報をまとめて確認できる。競合企業なども簡単に調べられる
	Ullet (ユーレット)	<a href="https://www.ullet.com/">https://www.ullet.com/</a>	基本部分は同上。ニュースのリストアップもあり
企業リスト	Baseconnect	<a href="https://baseconnect.in/">https://baseconnect.in/</a>	基本部分は同上。役員の情報なども掲載されている
	東証上場銘柄一覧	<a href="https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/misc/01.html">https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/misc/01.html</a>	東証に上場している大手企業のリスト。産業分野なども載っている
	EDINETリスト	<a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/E01EW/BLMainController.jsp?uji.verb=W1E62071InitDisplay&amp;uji.bean=ee.bean.W1E62071.EEW1E62071Bean&amp;TID=W1E62071&amp;PID=currentPage&amp;SESSIONKEY=1654672888117&amp;downloadFileName=&amp;lqKbn=2&amp;dfiq=0&amp;iflq=0">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/E01EW/BLMainController.jsp?uji.verb=W1E62071InitDisplay&amp;uji.bean=ee.bean.W1E62071.EEW1E62071Bean&amp;TID=W1E62071&amp;PID=currentPage&amp;SESSIONKEY=1654672888117&amp;downloadFileName=&amp;lqKbn=2&amp;dfiq=0&amp;iflq=0</a>	金融庁のEDINETの企業リスト。非上場企業も含む
	NISTEP企業名辞書	<a href="https://www.nistep.go.jp/research/scisip/rd-and-innovation-on-industry">https://www.nistep.go.jp/research/scisip/rd-and-innovation-on-industry</a>	科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の企業名辞書。少し古いがかなり詳しい情報が載っている

## 知財活動に役立つマーケット情報(事物情報)

知財実務において言葉は言うまでもなく重要であり、キーワード磨きは知財実務でも役立つ。また、ビジネスやトレンドを知ることが権利化の範囲や権利化要否を考えるうえできわめて重要

	コトバンク	<a href="https://kotobank.jp/">https://kotobank.jp/</a>	複数の辞典・辞書サイトの検索結果を一括して表示できる。知らない言葉の定義を一気に複数確認出来て、発明の理解にも欠かせない
キーワード	ラッコキーワード	<a href="https://related-keywords.com/">https://related-keywords.com/</a>	サジェストキーワードから関連事項を確認できる
	J-GLOBAL	<a href="https://jglobal.jst.go.jp/">https://jglobal.jst.go.jp/</a>	キーワード、文献、特許も検索できる
	JSTシソーラスmap	<a href="https://thesaurus-map.jst.go.jp/jisho/fullIF/index.html">https://thesaurus-map.jst.go.jp/jisho/fullIF/index.html</a>	科学技術用語の上位概念、下位概念、共出現語、関連語を検索できる。クレームドラフトや実施例の充実に利用可
	リサーチナビ	<a href="https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/">https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/</a>	キーワードの関連概念、文献、調べ方などが調べられる
	Googleトレンド	<a href="https://trends.google.co.jp/trends/?geo=JP">https://trends.google.co.jp/trends/?geo=JP</a>	トレンドにあがった時期が調べられる。その頃に重要なニュースがあったと推測される
ニュース レポート トレンド	Yahoo!リアルタイム検索	<a href="https://search.yahoo.co.jp/realtime">https://search.yahoo.co.jp/realtime</a>	Twitterの最近の検索結果が表示され、口コミからリスクの検討ができる
	経済レポート情報	<a href="http://www3.keizaireport.com/">http://www3.keizaireport.com/</a>	検索キーワードに関連するレポートを調べられる
	日本経済新聞	<a href="https://www.nikkei.com/">https://www.nikkei.com/</a>	有償だが多くのビジネスマンが購読しているので、読めるようにしておきたい

## マーケティングに利用できる知財情報(特許・商標情報)

以下のようなサイトでは、マーケティングに利用可能な知財情報を比較的簡単な操作で入手できる

	特許・実用新案検索   J-PlatPat	<a href="https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100">https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100</a>	ユーザ登録すれば検索結果のCSVもダウンロードでき、テキストマイニングなどに利用できる
国内特許 調査・分析	J-GLOBAL	<a href="https://jglobal.jst.go.jp/">https://jglobal.jst.go.jp/</a>	キーワードなどで検索して、出願人、特許分類(IPC/FI/Fターム)などで簡易分析ができる。キーワードだけならJ-Platpatでも検索できる
	特許・実用新案分類照会(PMGS)   J-PlatPat	<a href="https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p1101">https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p1101</a>	特許分類から関連技術などを知ることができる。Fタームは関連技術項目が分類され一覧化されていて参考になる
海外特許 調査・分析	The Lens	<a href="https://www.lens.org/">https://www.lens.org/</a>	グローバルの特許検索ができ、分析も簡単にできる
	商標検索   J-PlatPat	<a href="https://www.j-platpat.inpit.go.jp/t0100">https://www.j-platpat.inpit.go.jp/t0100</a>	国内商標を検索して、実施可能性のあるビジネスを調べることができる
商標調査	WIPO Global Brand Database	<a href="https://branddb.wipo.int/branddb/en/">https://branddb.wipo.int/branddb/en/</a>	グローバルの商標が簡単に検索でき、ビジネス展開をもくろむ国を調べることができる

## ～コーヒーブレイク～

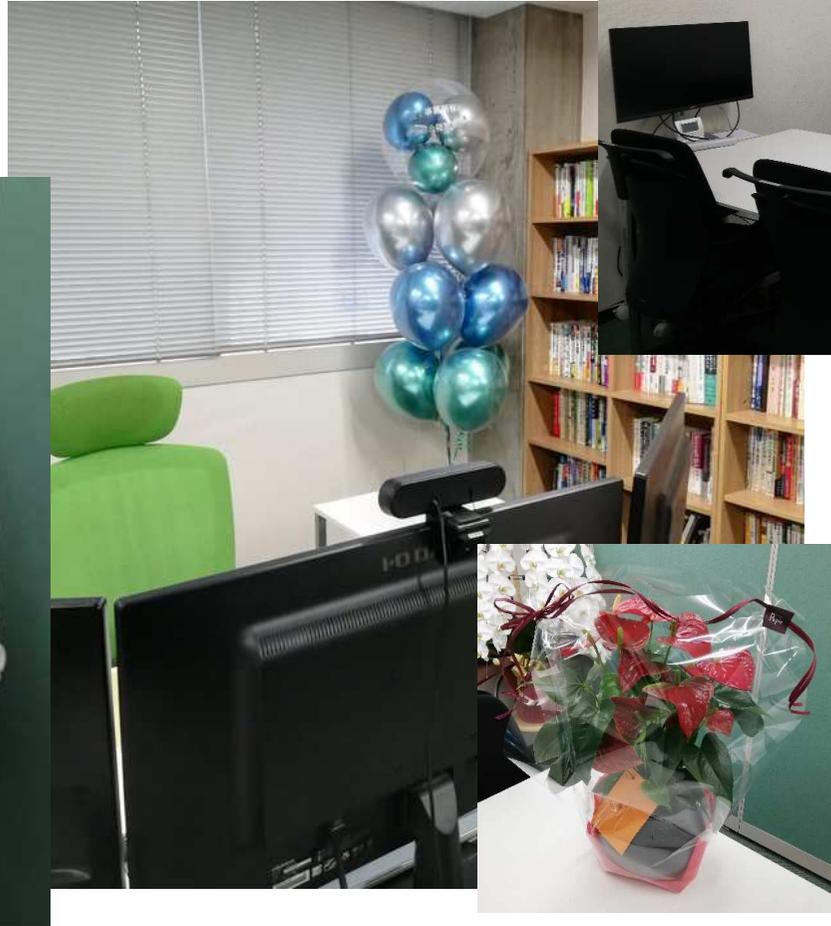
---

質問等がございましたらYouTubeのコメント欄にご記入ください。



## ～コーヒーブレイク～

- 6月1日から長野駅前アイビースクエアに移転しました。
- 長野に来た際は是非お立ち寄りください！
- ~~1階にタリーズがあるけど、~~コーヒーも出せます！



## 3. 簡易分析事例

---

情報ツールの紹介も兼ねて、国内で最も注目されているスタートアップについて分析してみる

# Startup DBの国内スタートアップ評価額ランキング最新版(2022年5月)

評価額も高く調達額も最大である「Spiber」が面白そう

## 国内スタートアップ 評価額ランキング最新版

## 国内スタートアップ評価額ランキング TOP20企業の累計資金調達金額

順位	社名	事業内容	評価額 (億円)
1	- Preferred Networks	機械学習・深層学習など最先端技術の実用化	3,549
2	- GVE	CBDC(中央銀行発行デジタル通貨)プラットフォームの開発	2,245
3	- スマートニュース	スマートデバイスに特化したニュースアプリ「SmartNews」	1,981
4	- SmartHR	クラウド人事労務ソフト「SmartHR」など	1,731
5	- TRIPLE-1	半導体のシステム「KAMIKAZE」の開発	1,641
6	- Spiber	新世代バイオ素材開発	1,352
7	- TBM	プラスチックや紙の代替素材「LIMEX」や資源循環サービスなど	1,336
8	- クリーンプラネット	凝縮系核反応を用いた新水素エネルギーの実用化研究	1,299
9	- Mobility Technologies	タクシー配車アプリ「GO」など	1,244
10	- アストロスケールホールディングス	スペースデブリ除去に関する技術開発	1,130
20	- atama plus	AIを用いた学習システム「atama+」	521

順位	社名	調達額(億円)	最終調達日
1	Preferred Networks	171.3	2019-07-31
2	GVE	35.4	2022-01-31
3	スマートニュース	442.1	2021-12-31
4	SmartHR	243.9	2021-06-30
5	TRIPLE-1	39.6	2020-12-25
6	Spiber	1,100.4	2021-12-29
7	TBM	327.8	2021-07-02
8	クリーンプラネット	15.4	2019-12-25
9	Mobility Technologies	470.8	2021-06-30
10	アストロスケールホールディングス	342.9	2022-01-25
20	atama plus	93.7	2021-12-24

注1: 登記簿に記載されている発行済の額を、潜在株を元に算出  
 注2: 2022年5月9日までに取得した登記簿の情報をもとに算出  
 注3: 子会社、INC(主幹)で設立した企業、上場・上場予定企業は除く  
 注4: 未上場での調達の場合は、ランキング発行時点での最終レートにて算出  
 注5: パネルは民事再生法の適用を受け、ランキングから除外  
 注6: リキッドグループは、M&Aを発表し、ランキングから除外

データ出元: STARTUP DB

STARTUP DB

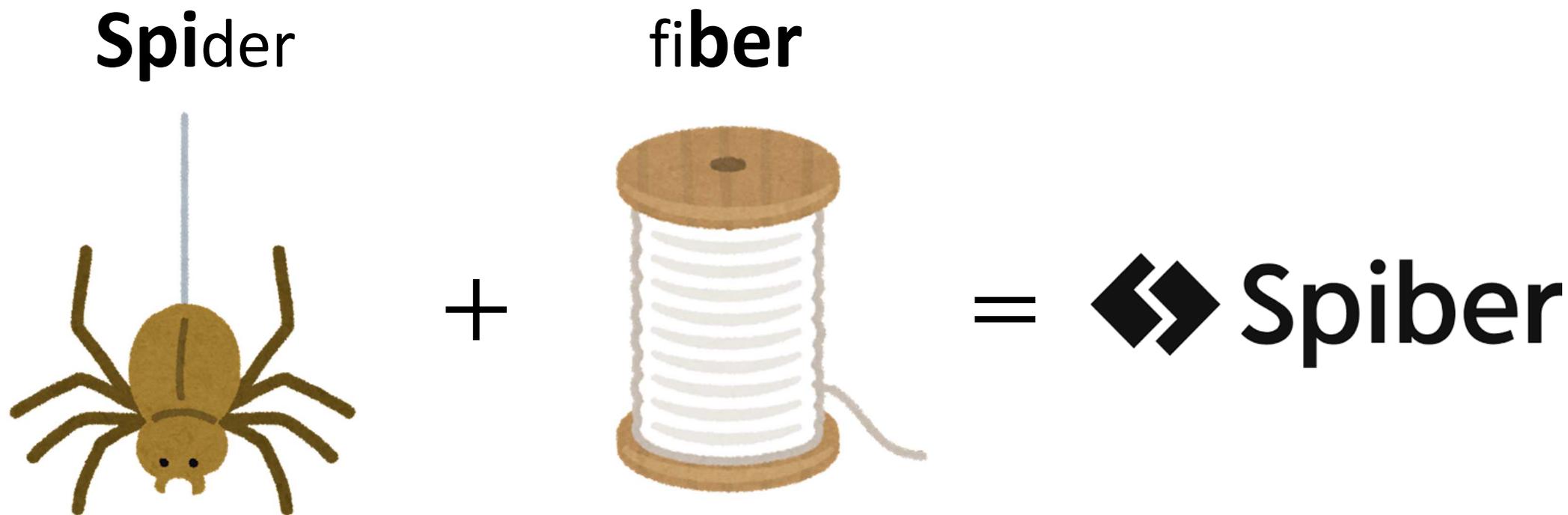
注1: 2022年5月9日時点のデータを使用  
 注2: 一部融資や社債での資金調達を含む

データ出元: STARTUP DB

STARTUP DB

## Spiber社について調べてみる

「新世代バイオ素材開発」をしているようだ。どうやら人工クモの糸の開発をしている会社らしいが…



Spiber社についてデスクトップサーチをしていきます

## 調査・分析の流れ

以下のような項目を調査・分析していく（実際の分析の様子はYouTubeを視聴ください）



# KH Coderを用いたテキストマイニング

J-PlatpatでダウンロードしたCSVをKH Coderを使ってテキストマイニングすることができる。要約で用いられているキーワードの共起ネットワーク分析や出願人のリレーション分析をすることができる



Japanese English

## Index

**【お知らせ】** 8月9日のオンデマンドセミナー【初級編】【ステップアップ編】にて、KH Coderを使った分析の考え方と手順を、開発者本人がご紹介いたします。  
※企業様主催につき有償です。ご質問受付などの都合から定員があります。

### 概要

KH Coderとは、計量テキスト分析またはテキストマイニングのためのフリーソフトウェアです。アンケートの自由記述・インタビュー記録・新聞記事など、さまざまなテキストの分析にお使いいただけます。

- 主な機能と分析の手順
- KH Coderを用いた研究事例のリスト ◀ 5355件

### 機能紹介 (スクリーンショット)

- スクリーンショット集 [18ページ: 言葉・文書・可視化・他]
- KH Coder 3の新機能 ◀ New!
- 機能追加プラグイン「文錦®」シリーズ ◀ New!

### ダウンロードと使い方

- KH Coder 3 ダウンロード (3.Beta.05 - 2022 05/25)
- 使い方を知るためのチュートリアル
- 使用許諾

### ヘルプ

## オススメの解説本



<https://kncoder.net/>

Copyright © 2022 Sato Sogo Patent Firm.  
All Rights Reserved.





## 複合語(特徴語)の検出

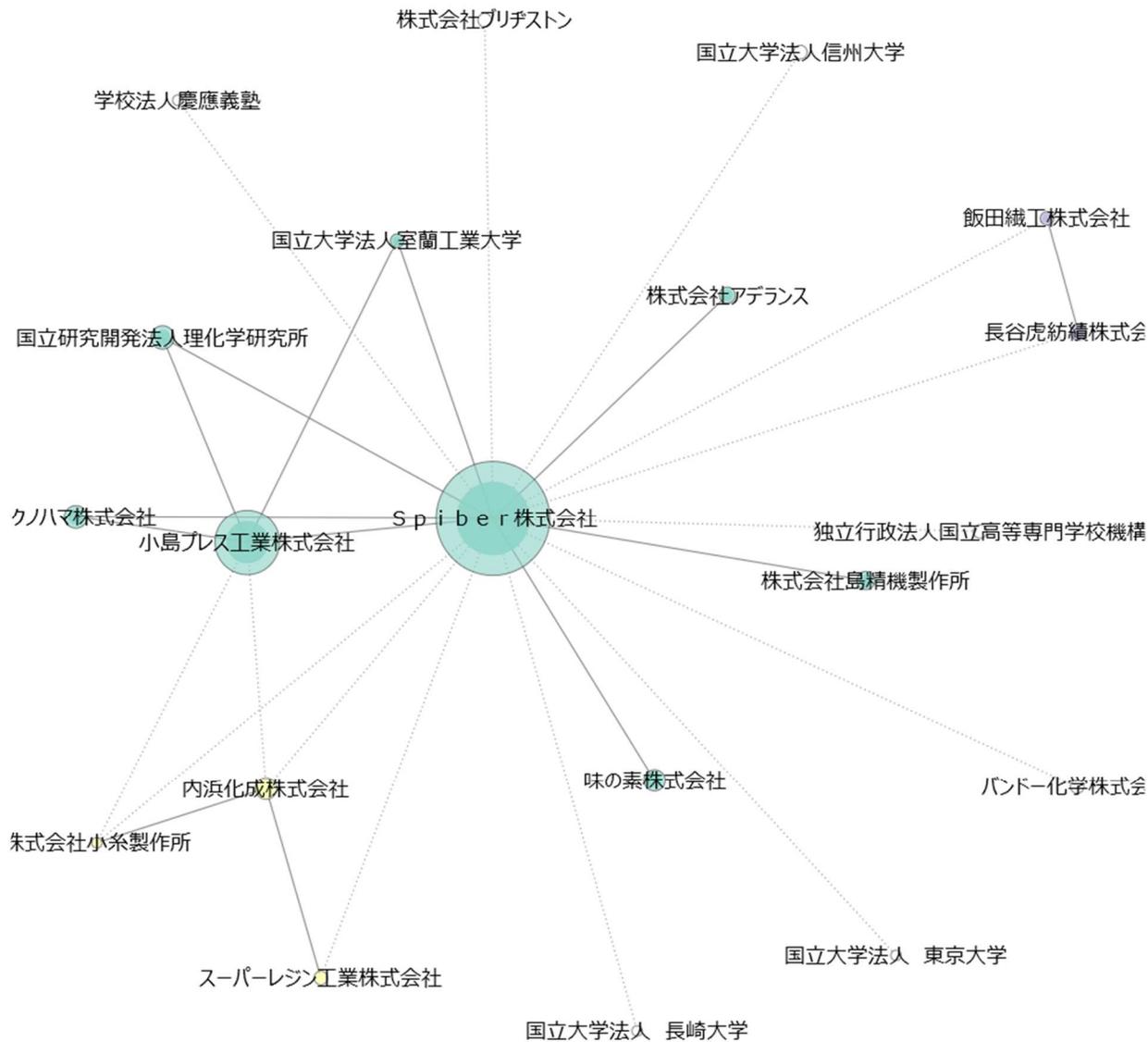
順位	複合語	スコア
1	タンパク質繊維	7225.2
2	改変フィブロイン	4342.3
3	フィブロイン様タンパク質	4069.3
4	組換えタンパク質	3353.2
5	フィブロイン繊維	3165.2
6	タンパク質成形体	2722.7
7	人造フィブロイン繊維	2683.4
8	製造方法	2369.9
9	組換え細胞	2200.1
10	成形体	2051.9
11	構造タンパク質	1895.3
12	アミノ酸配列	1489.3
13	改変フィブロイン繊維	1441.2
14	アミノ酸残基	1221.9
15	目的タンパク質	1097.5
16	クモ糸タンパク質	1017.7
17	タンパク質溶液	985.6
18	組換え構造タンパク質	813.8
19	タンパク質原料繊維	665.3
20	タンパク質組成物	542.3
21	凝固液	532.8
22	nモチーフ	509.3
23	前記組換えタンパク質	448.1
24	人造ポリペプチド繊維	423.7
25	親水性組換えタンパク質	401.1
26	糸T	353.9
27	タンパク質繊維糸	345.5
28	組成物	342.2
29	組換え構造タンパク質溶液	339.3
30	改変クモ糸フィブロイン	321.6

KH Coderには、複合語（特徴語）をリストアップする機能もある。

「タンパク質繊維」や「フィブロイン」が重要キーワードであるのが分かり、検索する際に掛け合わせるキーワードを探することもできるし、明細書の読み込みも効率化できる

複合語としての使い方も参考になり、類語の探索にも使え、クレームドラフトにも役立つ

# テキストマイニング機能の応用



KH Coderの共起ネットワークの作図機能を応用すると、共同出願関係のマップを作ることできる。

この場合、J-PlatpatでダウンロードしたCSVから出願人の列をテキストに貼り付け、適切な前処理をして作図する必要がある。

# Spiber社についてわかったことと今後の予測

## 自社と市場との関係

- 1100億円以上調達しており、市場から非常に大きな期待を集めている
- フィブロイン繊維がコア技術で、人工クモ糸の開発を進めていたが収縮の問題があり2015年ごろに方向転換し、改変フィブロインである「ブリュード・プロテイン」の量産工場を2022年からタイで稼働する
- フィブロイン等に関し国内外600件以上の特許出願をしており、欧日米中の順に出願が多くこれらが主要市場
- 商標登録出願も社名や商品名など活発に行っている。商標「Mokke」についても出願されているがニュースが見つからず、新商品の可能性がある
- 装置メーカーとして、小島プレス工業社と多数共同出願しており、同社とのJVとして「Xpiber」がある
- ゴールドウィンやパンガイアなどアパレルブランドとのコラボが進んでいる

## 競合の動向

- 米国のタフツ大学や中国の東華大学なども類似の技術分野で特許出願している
- キノコ菌製の人工レザーを開発している「Bolt Threads」のような競合企業があり、同社はアディダスなどの戦略的パートナーシップを結んでいる
- 「Spiber technologies AB」というスウェーデンの研究機関も同じような技術開発を行っており「spiber」という商標については両社で取りあっている

→競合も多く有望な市場である可能性があり、SDGsやカーボンニュートラルを追い風に高級品での市場投入が行われてきたが、今後の低価格化に対応するためにタイ工場の稼働により対策を進めている

## 4. まとめ

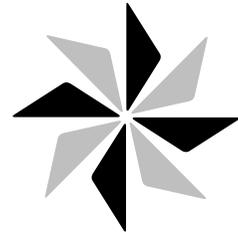
---

## まとめ

---

- 事業に役立つ情報を提供するためには、特許だけ、マーケットだけを調べて満足しないこと。両方意識して分析を深めていくことが重要
- 手間を惜しまなければ企業情報なども無料でかなり手に入る
- 特許や商標の情報について概要であれば実は簡単に調べられる場合もあり、分析も簡単にできる
- KH Coderは楽しいのでみんなの研究しよう

知財実務のお役に立てば幸いです



佐藤総合特許事務所